

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	1068	(H.22)No.	1073
-----------	------	-----------	------

事務事業名		地域医療推進事業	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
健康福祉部	地域医療室	富岡憲子	63-6970
新・継	事業期間	根拠法令等	
新規	平成 21 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	1	地域医療体制の充実
重点施策コード 1-2.安心できる医療体制の整備(在宅医療体制の充実)			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	250601
一般会計	(中事業名)	
款 衛生費	地域医療推進事業	
項 保健衛生費	(小事業名)	
目 保健衛生総務費	地域医療推進事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>市民が安心して住みなれた地域で暮らすための医療や介護が受けられる在宅医療体制を構築するため、名賀医師会をはじめ医療機関・福祉機関従事者と協力し、体制整備にむけた検討会、講習会、研修会などを実施している。また、平成23年度に「在宅医療支援センター」の設置を目指している。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>検討会等を踏まえ、在宅医療体制の拠点となる「在宅医療支援センター」を設置し、医療機関・福祉機関等が連携して、また地域住民に協力いただき、市民が地域において安心して暮らすことができるよう支えるシステムを構築する。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)			
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療(ケア)整備検討委員会 毎月1回(11月休) 委員数15名 「地域医療(ケア)を考えるフォーラム」開催(1回) 約150名参加 従事者研修会 1回 先進地視察2回 	<ul style="list-style-type: none"> 検討委員会 7回予定 部会(3部会) 各部会5回予定 【医療関係部会、医療機関ガイドブック・マップ作成部会、基本情報作成作業部会】 講演会 1回予定 研修会 2回予定 2か年の活動報告 	<input type="checkbox"/> 補助金・交付金 <input type="checkbox"/> その他 ()	平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
事業費 (千円)	1,427	800	5,500	5,500	5,500	
の 財 源 内 訳	国庫支出金		5,500	5,500	5,500	
	県支出金	1,427				
	地方債					
	その他()					
一般財源		800				
人工数	職員(人) 0.33	0.90	0.90	0.90	0.90	
	臨時職員等(人)	1.00				
人件費 (千円)	2,409	8,270	6,570	6,570	6,570	
総費用 + (千円)	3,836	9,070	12,070	12,070	12,070	

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
成果指標	目標	%	29.4	32.4			31.0
	実績						
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	よりよい成果が得られるよう努める。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
高齢化が進む中、自宅や住み慣れた地域で療養したいと思っている方が多く、その内、実現は難しいと考えている方の割合が高い。在宅医療を取り巻く環境を整備し、望むところで医療等のサービスが受けられ、地域住民により支えあう体制づくりが必要である。	

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組 ('新しい公'の推進)		
協働等は実践していますか 実践している(^)	協働等の主な相手先について その他団体(^)	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) その他(^)	協働等の今後の取組について 市が直接実施	
		備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか できる(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)		国・県補助
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか できる(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(拡大)(今後の展開方法 (1)・(2)へ)	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など 関係機関等の連携など効果的に事業展開するための手法を検討中	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 平成23年度稼働に向け関係機関と調整をすすめる。 医師会への委託事業として事業展開することについて調整をすすめる。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	5010
-----------	-----------	------

事務事業名		保健センター管理費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
健康福祉部		地域医療室		富岡憲子	63-6970
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	名張市保健センター設置条例

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	1	健康づくり
	小施策	2	保健予防の充実
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	255001
一般会計		(中事業名)	
款	衛生費	保健センター管理費	
項	保健衛生費	(小事業名)	
目	保健センター管理費	保健センター管理費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
市民の健康保持及び増進を図るための健康づくり及び地域医療の拠点施設として、保健センターの管理・運営を行う。建物及び付帯設備の保守点検など、施設の維持管理を行う。	

めざす効果(事業目的)	
市民が利用しやすい環境を保ち、健康づくり・地域医療の拠点とする。	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)		平成22年度 (計画・6月補正後予算)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		
主な事業の実績・計画	施設にかかる光熱水費、保守点検、修繕、電話料等施設の維持管理にかかる費用 行事等の回数 約380回 施設利用者数 延約9,000名		施設にかかる光熱水費、保守点検、修繕、電話料等施設の維持管理にかかる費用		
	事業費 (千円)	5,920	6,924	6,924	6,924
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金	7	335		
	地方債				
	その他()	403	405	405	405
人工数	職員(人)	0.90	0.55	0.55	0.55
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)	6,570	4,015	4,015	4,015	4,015
総費用 + (千円)	12,490	10,939	10,939	10,939	10,939

現在の実施手法(複数選択可)		
市が直接実施		
業務委託(全部・一部)により実施		
指定管理		
補助金・交付金		
その他 ()		

平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
施設にかかる光熱水費、保守点検、修繕、電話料等施設の維持管理にかかる費用	施設にかかる光熱水費、保守点検、修繕、電話料等施設の維持管理にかかる費用	施設にかかる光熱水費、保守点検、修繕、電話料等施設の維持管理にかかる費用

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標							
実績							
目標							
実績							
目標							
実績							
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
昭和59年に設置されてから年数が経過し、修繕箇所が増加している。	

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1)協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ) ▼	協働等の主な相手先について ▼	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) ▼	協働等の今後の取組について 市が直接実施 ▼	
(2)現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼		
(3)事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼		
(4)新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼		
(5)その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)(理由 (2)へ) ▼	特記事項
(1)短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2)継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 市民の健康保持及び増進、地域医療の拠点である施設の管理・維持のため継続が必要である。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	6072
-----------	-----------	------

事務事業名		保健衛生総務一般経費			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
健康福祉部		地域医療室		富岡憲子	63-6970
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	1	地域医療体制の充実
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	250501
一般会計		(中事業名)	
款	衛生費	保健衛生総務費	
項	保健衛生費	(小事業名)	
目	保健衛生総務費	保健衛生総務一般経費	

3. 事務事業の概要

事業概要	
医療に関する事務経費	

めざす効果(事業目的)	
保健衛生行政の円滑な実施	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	事務経費 用紙等 事務用消耗品費	事務経費 用紙・書籍等事務用消耗品費 医療に関する研修等旅費	補助金・交付金	その他 ()	
			平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)
			事務経費	事務経費	事務経費
事業費 (千円)	100	105	105	105	105
の 財 源 内 訳	国庫支出金				
	県支出金		67		
	地方債				
	その他()				
一般財源	100	38	105	105	105
人工 数	職員(人)	0.13	0.10	0.10	0.10
	臨時職員等(人)				
人件費 (千円)	949	730	730	730	730
総費用 + (千円)	1,049	835	835	835	835

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標							
実績							
目標							
実績							
目標							
実績							
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)

協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ) ▼	協働等の主な相手先について ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) ▼	協働等の今後の取組について 市が直接実施 ▼

	備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)(理由 (2)へ) ▼	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 業務遂行において必要な事務経費であり、省エネを意識しながら継続する。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	(H.22)No.	6073
-----------	-----------	------

事務事業名	応急診療所費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
健康福祉部	地域医療室	富岡憲子	63-6970
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	昭和 59 年度 ~ 平成 年度	名張市応急診療所の設置及び管理に関する条例	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	2	救急医療体制の充実
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	255502
一般会計	(中事業名)	
款	衛生費	応急診療所費
項	保健衛生費	(小事業名)
目	応急診療所費	応急診療所費

3. 事務事業の概要

事業概要
<p>名賀医師会、名賀保険薬局会の協力のもと、休日及び夜間の急病患者に対し応急的な医療を提供する。</p>

めざす効果(事業目的)
<p>地域住民の休日、夜間の一次救急医療を確保し、一次・二次の役割分担の徹底及び適正受診を促進し、地域で安心できる医療体制の整備を図る。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)					
		[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理	補助金・交付金	その他 ()
主な事業の実績・計画	応急診療所の運営、維持管理 ・開所日数:365日 ・受診者数:延べ8,608人 ・診察日及び受付時間: 【平日夜】午後8時~10時 【日曜日、祝日、12月31日から1月3日】午前9時~12時 午後3時~5時 午後8時~10時	応急診療所の運営、維持管理 開所日数:365日 診察日及び受付時間: 【平日夜】午後8時~11時 【日曜日、祝日、12月31日から1月3日】午前9時~12時 午後3時~5時 午後8時~11時	平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	応急診療所の運営、維持管理 ・開所日数:365日	応急診療所の運営、維持管理 ・開所日数:366日	応急診療所の運営、維持管理 ・開所日数:365日
事業費 (千円)	44,112	40,922	40,922	40,922	40,922			
の 財 源 内 訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他(諸収入)	44,112	40,922	40,922	40,922	40,922		
一般財源								
人工数	職員(人)	3.50	3.00	3.00	3.00	3.00		
	臨時職員等(人)		0.75	0.75	0.75	0.75		
人件費 (千円)	25,550	23,175	23,175	23,175	23,175			
総費用 + (千円)	69,662	64,097	64,097	64,097	64,097			

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
目標							
実績							
目標							
実績							
目標							
実績							
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
一次救急をより充実させるため、平成22年度より応急診療所の夜間の受付時間を午後11時までに延長した。	

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか 実践していない(適当ではない)(へ) ▼	協働等の主な相手先について ▼
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) ▼	協働等の今後の取組について 市が直接実施 ▼
備考欄	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。 ▼	
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である ▼	
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である ▼	
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 困難である ▼	

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)(理由 (2)へ) ▼	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 休日・夜間、年末年始等の一次救急医療の受け入れを行い、地域住民の一次救急医療を確保するため継続が必要。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.21)No.	1067	(H.22)No.	1072
-----------	------	-----------	------

事務事業名	献血推進事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
健康福祉部	地域医療室	富岡憲子	63-6970
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	昭和 49 年度 ~ 平成 年度	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	4	健康長寿のまちづくり
	施策	2	地域医療
	小施策	2	救急医療体制の充実
重点施策コード	1-1.安心できる医療体制の整備(地域医療体制の整備)		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	250504
一般会計	(中事業名)	
款	衛生費	保健衛生総務費
項	保健衛生費	(小事業名)
目	保健衛生総務費	献血推進事業

3. 事務事業の概要

事業概要	
安全な血液の安定した供給・確保のため、名張市献血推進協議会の協力のもと啓発活動を進め、地域住民及び市内事業所等への献血思想の普及に努める。	

めざす効果(事業目的)
献血に対する思想の普及を図り、理解・協力・参加していただき、血液製剤を確保する。

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成21年度 (実績・決算見込)	平成22年度 (計画・6月補正後予算)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	移動採血車配車日数 22日(延べ53会場) 内3日 啓発活動実施 ・献血ページント ・献血推進の日 ・ウインター献血キャンペーン 献血者数 921名 事業経費 123,600円 啓発用ノベルティー 事務用消耗品等	移動採血車配車予定日数 22日 啓発活動予定 ・献血キャンペーン ・献血推進の日 ・ウインター献血キャンペーン 献血予定者(目標) 1,034名 事業予算 135,000円	補助金・交付金	その他 (日赤と共同で実施)	
	平成23年度 (計画)	平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)		
街頭献血 キャンペーン 事業所献血 の実施	街頭献血 キャンペーン 事業所献血 の実施	街頭献血 キャンペーン 事業所献血 の実施			
事業費 (千円)	124	135	135	135	135
の 財 源 内 訳					
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	124	135	135	135	135
人工数					
職員(人)	0.33	0.45	0.45	0.45	0.45
臨時職員等(人)					
人件費 (千円)	2,409	3,285	3,285	3,285	3,285
総費用 + (千円)	2,533	3,420	3,420	3,420	3,420

人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
 平成21年度の()内の数値は、20年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
 特別会計、企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。
 平成23年度以降の計画(内容及び事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標 実績	献血協力者数(400ml献血)	人	958	921		
	目標 実績						
	目標 実績						
考察及び今後の対応方針	事業を推進し、より良い成果が得られるよう努める。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律第5条」に規定されている地方公共団体の責務において、三重県・血液センター・名張市献血推進協議会・名張市で協力し、輸血用血液確保のため、献血活動を展開している。	

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		
協働等は実践していますか 実践している(^)	協働等の主な相手先について その他団体(^)	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 実行委員会・協議会設置(^)	協働等の今後の取組について 継続実施	
		備考欄
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である。		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保、事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある(現在考えられる方法・工夫等があれば、備考欄へ記載)		

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) 継続(現行どおり)(理由 (2)へ)	特記事項
(1) 短期的な(平成22年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 継続(現行どおり)の理由、中長期的な(平成23年度以降)事務事業の工夫・改善など 安全な輸血用血液の確保や各種輸血用製剤の原料となる血液の確保が必要である。	